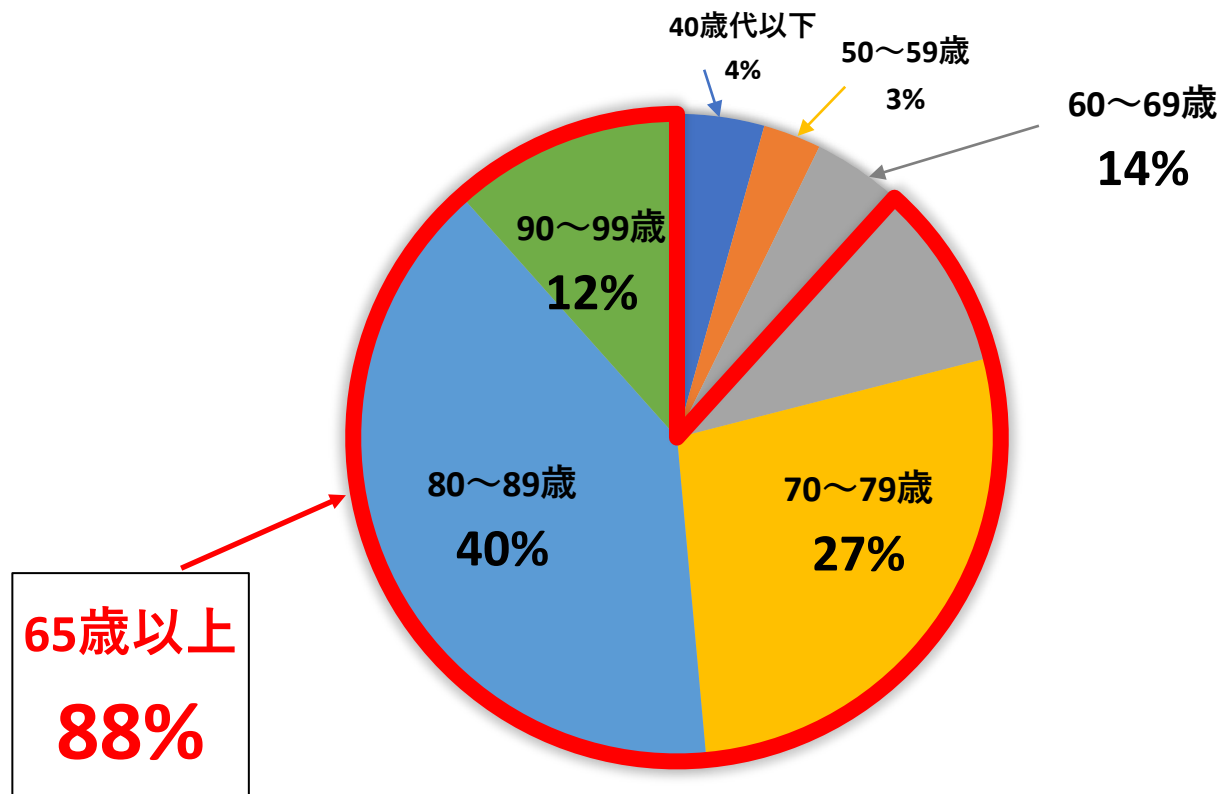


# ホルター心電計を自己抜去、 紛失した1事例

湖東厚生病院臨床検査科 高橋 知里、渡邊 珠美、太田 光明、高橋 寿明、  
波多野 善明

# 2022年度当院のホルター心電図検査：138件



年齢分布

# 事例

- 70歳代男性、倦怠感、体動時呼吸促迫により近医受診、SpO<sub>2</sub> 85%のため精査・加療目的に当院内科受診。
- 心房細動を伴った慢性心不全増悪と診断。
- 利尿剤開始にて改善したが再診時洞徐脈となった。
- 洞不全症候群の可能性もあり、ホルター心電図検査を実施（午前11:40～翌日午前11:50まで装着）。

# 装置装着時の状況

- 検査説明を患者1人では理解できそうになかったため、家族にも口頭で説明したが、患者の認知レベル把握は困難であった。
- 翌日来院時、「本人が前日夜装置を外してしまい、探しても見つからない」と家族より報告あり、本人は装置の装着と自己抜去を全く覚えていなかった。
- 紛失した装置は フクダ電子 FM-160



# 主な原因

- ① 他院からの紹介で2回目の診察であり、主治医は認知症レベルを把握できていなかった。
- ② 患者は独歩で家の周りを1人で散歩するなど行動範囲が広がった。
- ③ 技師は口頭のみで検査説明を行った。

# 改善策

患者及び付添人に

- ① 口頭だけでなく、「案内文書」を渡して説明する。
- ② 来院してから心電計を外すことを説明する。


付添人に認知機能低下の有無を確認し、低下者には

- ③心電計が装着されているか家族が定期的に確認する。
- ④主な移動場所を記録する。
- ⑤内容を理解できているか確認する。

# 作成した案内文書

- ホルター心電計装着中の過ごし方を記載
- 装置を外す日時を記載
- 高額な医療機器であり、紛失・破損した際、場合によっては弁償責任があることを記載

検査を受けられる患者さんへ

ホルター心電図検査を受けられる方へ 

☆日常生活での心電図を24時間記録して観察する検査です

ご案内

月 日 時 分頃

直接、⑩生理検査室にいらして下さい。(受付は不要です)

①入浴/シャワーはお控え、その他はいつも通りの生活を心掛けましょう

②検査中の電気毛布の使用はお控えください

③機器をぶついたり、落としたり、乱暴に扱わないようお願い致します

④機器は装着したままでおやすみください

⑤行動記録カードを記入し、来院時持参してください

注意：故意または重大な過失により検査機器や機器備品を紛失・破損した場合、検査受診者に弁償責任が発生することがあります

湖東厚生病院

# まとめ

- 外来患者がホルター心電計を自己抜去し紛失した事例を経験した。
- 付添人に医療機器が高額であることを説明し、患者の様子を注意深く観察し、見守りを願います。
- 改善策により再発防止に取り組んでいきたい。